平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名　日本化成株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4007　URL　http://www.nkchemical.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 中村　英輔
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 関　信哉　TEL 03-5540-5861
四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	7,093	△4.8	△359	—	△347	—	△121	—
24年3月期第1四半期	7,448	△15.2	380	△26.1	302	△32.7	△131	—

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　△124百万円　(—%)　24年3月期第1四半期　△148百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△1.15	—
24年3月期第1四半期	△1.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	34,326	11,181	32.6
24年3月期	34,560	11,515	33.3

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　11,181百万円　24年3月期　11,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		0.00	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,300	△1.6	△210	—	△200	—	△210	—	△2.00
通期	35,600	8.2	1,400	147.8	1,450	50.6	690	85.5	6.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	105,115,800 株	24年3月期	105,115,800 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	28,836 株	24年3月期	28,836 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	105,086,964 株	24年3月期1Q	105,088,852 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

（説明資料）　平成25年３月期　第１四半期決算概要

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における日本経済は、復興関連需要等が堅調に推移する中で、緩やかな回復過程を辿りましたが、継続する欧州債務問題、及びそれを背景とした米国経済の先行き懸念、中国経済の伸び悩み等、世界経済全体が停滞感を脱し切れない状況を続け、為替動向、中東原燃料情勢等、留意すべき諸要素も抱えるなど、取り巻く諸環境が不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、新中期経営計画「NKC-Plan2015」のアクションプランに沿って、各種の合理化、効率化、コストダウン、生産効率のアップ、品質向上等に徹底して取り組むとともに、販売数量の拡大に向けた諸対応に全力を傾注する等、各種経営諸施策を鋭意実行してまいりました。

こうした中、当社グループの当第１四半期連結累計期間の業績は、アンモニア系製品については、主要顧客の需要回復等により、またホルマリン、木材加工用接着剤については、主要顧客の震災復旧の進展等により、逐次持ち直し過程を辿り、販売数量が回復基調で推移しましたが、機能化学品事業及び無機化学品事業の一部については、需要回復テンポが緩やかなレベルに留まったことから、全体の売上高は、7,093百万円（前年同期比4.8％減）となりました。

一方、損益については、上記機能化学品事業及び無機化学品事業の一部の需要回復テンポが緩やかだったことに加え、震災による前期操業大幅低下に伴う繰越在庫の払出負担等一時的な要因、更には震災による損害に伴い前期特別損失に計上した工場固定費の本来売上原価への反映等により、営業損失は、359百万円（前年同期は、営業利益380百万円）、経常損失は、347百万円（前年同期は、経常利益302百万円）、四半期純損失は、121百万円（前年同期は、四半期純損失131百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

（無機化学品事業）

硝酸をはじめとするアンモニア系製品は、前年第２四半期以降大きく落ちこんでいた主要顧客の需要が年末に概ね底を打ち、その後逐次回復したことにより、販売数量、売上高ともほぼ前年同期並みとなりました。合成石英粉は、前年年末以降、需要の減少が概ね底入れし、逐次持ち直し過程を辿りましたが、堅調であった前年同期との比較では、販売数量、売上高とも減少しました。ディーゼル車脱硝用高品位尿素水（アドブルー）は、市場競争の激化による厳しい状況下、尿素SCRシステム搭載車の増加、拡販努力等により販売数量、売上高とも増加しました。

その結果、全体の売上高は3,300百万円（前年同期比8.0％減）となりました。

（機能化学品・化成品事業）

タイク（ゴム、プラスチック架橋助剤）は、前年第２四半期以降大きく落ち込んだ需要が、年末以降概ね底入れしましたが、需要回復テンポが緩やかなレベルに留まったことから、堅調であった前年同期との比較では、販売数量、売上高とも大幅に減少しました。電子工業用高純度薬品及び脂肪酸アマイドは、震災の影響で大きく落ち込んだ前年同期との比較では、販売数量、売上高が増加しました。

メタノールは、需要が比較的堅調であったこと等から、販売数量、売上高とも増加しました。ホルマリンは主要顧客の需要回復等により、木材加工用接着剤は主要顧客の震災復旧の進展等により、回復基調で推移したことから、大きく落ち込んだ前年同期との比較では、販売数量、売上高とも大幅に増加しました。

その結果、全体の売上高は3,069百万円（前年同期比7.8％増）となりました。

（エンジニアリング事業）

震災復旧需要の一巡に伴い受注が減少したこともあり、大型工事案件の検収ずれによる一時的な売上増があった前年同期との比較では、売上高は389百万円（前年同期比43.4％減）と大幅に減少しました。

（その他）

貨物運送・荷役事業は、主要顧客の震災復旧の進展等により売上高が増加しましたが、有機溶剤等の蒸留・精製業の処理量減少等もあり、全体の売上高は297百万円（前年同期比1.7％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比し234百万円減少し、34,326百万円となりました。これは、主に現金及び預金並びにたな卸資産等が増加したものの、売上債権及び有形固定資産等が減少したことによるものであります。

当第１四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比し100百万円増加し、23,145百万円となりました。これは、主に短期借入金及び流動負債のその他等の増加が賞与引当金及び未払法人税等の減少を上回ったことによるものであります。

当第１四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比し334百万円減少し、11,181百万円となりました。これは、主に四半期純損失及び支払配当金等により利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は32.6％（前連結会計年度末は33.3％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社においては例年、４月から６月にかけて生産設備の定期修理が集中すること等から、第１四半期の利益水準が相対的に低くなる傾向にあり、加えて当第１四半期については、震災の影響による前期操業の大幅低下に伴う繰越在庫の払出負担が集中するなど一時的要因が重なりましたが、これらについては、既に織り込み済みであり、全体的な業績は概ね想定通りに推移しております。

一方、今後につきましては、日本経済は、引き続き緩やかな回復過程を辿ると想定されますものの、世界経済の動向等、留意すべき諸要素を抱え、先行き見通しが不透明でありますことから、平成24年５月11日に公表した連結業績予想の修正は行っておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第１四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,519	1,987
受取手形及び売掛金	8,780	7,699
商品及び製品	2,994	2,876
仕掛品	381	937
原材料及び貯蔵品	1,385	1,410
その他	2,016	2,048
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	17,074	16,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,196	3,149
機械装置及び運搬具（純額）	2,750	2,612
土地	6,967	6,951
建設仮勘定	368	472
その他（純額）	151	143
有形固定資産合計	13,432	13,327
無形固定資産		
その他	50	52
無形固定資産合計	50	52
投資その他の資産		
その他	4,030	4,016
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	4,004	3,990
固定資産合計	17,486	17,369
資産合計	34,560	34,326

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,690	4,731
短期借入金	10,637	10,777
未払法人税等	178	33
賞与引当金	339	93
災害損失引当金	1,033	973
その他	1,863	2,331
流動負債合計	18,740	18,938
固定負債		
長期借入金	853	801
退職給付引当金	2,928	2,923
役員退職慰労引当金	96	56
災害損失引当金	312	312
その他	116	115
固定負債合計	4,305	4,207
負債合計	23,045	23,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593	6,593
利益剰余金	4,913	4,582
自己株式	△6	△6
株主資本合計	11,500	11,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	12
その他の包括利益累計額合計	15	12
純資産合計	11,515	11,181
負債純資産合計	34,560	34,326

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	7,448	7,093
売上原価	5,764	6,182
売上総利益	1,684	911
販売費及び一般管理費	1,304	1,270
営業利益又は営業損失（△）	380	△359
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	7	12
持分法による投資利益	－	6
受取賃貸料	17	18
その他	16	22
営業外収益合計	41	58
営業外費用		
支払利息	30	28
持分法による投資損失	80	－
その他	9	18
営業外費用合計	119	46
経常利益又は経常損失（△）	302	△347
特別利益		
固定資産売却益	－	81
補助金収入	－	66
特別利益合計	－	147
特別損失		
災害による損失	444	－
投資有価証券評価損	23	－
特別損失合計	467	－
税金等調整前四半期純損失（△）	△165	△200
法人税、住民税及び事業税	165	21
法人税等調整額	△168	△100
法人税等合計	△3	△79
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△162	△121
少数株主損失（△）	△31	－
四半期純損失（△）	△131	△121

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△162	△121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	14	△3
四半期包括利益	△148	△124
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△117	△124
少数株主に係る四半期包括利益	△31	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他（百万円）（注）１	合計（百万円）	調整額（百万円）（注）２	四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注）３
	無機化学品事業（百万円）	機能化学品・化成品事業（百万円）	エンジニアリング事業（百万円）	計（百万円）				
売上高								
（１）外部顧客への売上高	3,586	2,846	687	7,119	302	7,421	27	7,448
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	－	3	49	52	40	92	△92	－
計	3,586	2,849	736	7,171	342	7,513	△65	7,448
セグメント利益又は損失（△）	196	151	67	414	△46	368	12	380

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送・荷役事業、サービス関連業（熱供給業、有機溶剤等の蒸留・精製業、産業廃棄物処理関連業等）を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額

	金額（百万円）
電気及び蒸気の販売による利益	2
その他の調整額※1	52
全社費用※2	△42
合計	12

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るもの及び各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他（百万円）（注）1	合計（百万円）	調整額（百万円）（注）2	四半期連結損益計算書計上額（百万円）（注）3
	無機化学品事業（百万円）	機能化学品・化成品事業（百万円）	エンジニアリング事業（百万円）	計（百万円）				
売上高								
（１）外部顧客への売上高	3,300	3,069	389	6,758	297	7,055	38	7,093
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	－	1	9	10	86	96	△96	－
計	3,300	3,070	398	6,768	383	7,151	△58	7,093
セグメント利益又は損失（△）	24	△17	△23	△16	△20	△36	△323	△359

（注）１．「その他」の区分は、貨物運送・荷役事業、有機溶剤等の蒸留・精製業等であります。

当第１四半期連結累計期間において、「その他」に含まれている「貨物運送・荷役事業」の外部顧客への売上高は289百万円、セグメント利益は22百万円であり、「有機溶剤等の蒸留・精製業」の外部顧客への売上高は8百万円、セグメント損失は25百万円であります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額

	金額（百万円）
電気及び蒸気の販売による損失（△）	△ 7
その他の調整額※1	△279
全社費用※2	△37
合計	△323

※1. その他の調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るもの及び各報告セグメントに配分していない原価差額であります。

※2. 全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費の予定配賦額と実績発生額との差額及び報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

平成24年8月3日

平成25年3月期　第1四半期決算概要

日本化成株式会社

1．連結業績

［単位：百万円］

	当第1四半期連結累計期間 (H24.4.1-H24.6.30)	前年同四半期連結累計期間 (H23.4.1-H23.6.30)	増減 金額	増減 率
売上高	7,093	7,448	△355	-4.8%
営業利益	△359	380	△739	-
金融収支	△16	△22	6	※1
その他営業外	22	24	△2	
持分法損益	6	△80	86	※2
経常利益	△347	302	△649	-
特別損益	147	△467	614	※3
税引前利益	△200	△165	△35	-
当期純利益	△121	△131	10	-
1株当り当期純利益	△1円15銭	△1円25銭		

※1金融収支の主な内訳

	H24/6	H23/6	差
受取配当金	12	7	+5

	H24/6	H23/6	差
※2小名浜海陸運送	6	△80	+86

※3特別損益主な内訳

	当第1四半期	前年同四半期
固定資産売却益(注1)	81	-
受取補償金	66	-
災害による損失(注2)	-	△ 444
投資有価証券評価損	-	△ 23
計	147	△ 467

(注1)子会社土地の売却益

(注2)震災による操業停止期間中の固定費等

①ｾｸﾞﾒﾝﾄ別売上高

		当第1四半期連結累計期間 (H24.4.1-H24.6.30)	前年同四半期連結累計期間 (H23.4.1-H23.6.30)	増減	
報告セグメント	無機化学品	3,300	3,586	△ 286	ｱﾝﾓﾆｱ系製品は販売数量、売上高ともほぼ前年同期並みとなるも、無機材料は堅調であった前年同期との比較では、販売数量、売上高ともに減少したため対前年同期比減収
	機能化学品･化成品	3,069	2,846	223	ﾀｲｸ(ｺﾞﾑ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ架橋助剤)は堅調であった前年同期との比較で販売数量、売上高が減少するも、ﾎﾙﾏﾘﾝ・木材加工用接着剤が主要顧客の需要回復あるいは震災復旧の進展により販売数量、売上高とも増加し、全体として対前年同期比増収
	ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	389	687	△ 298	震災復旧需要の一巡に伴い受注が減少したこともあり、大型工事案件の検収ずれ等、一時的な売上増があった対前年同期との比較で減収
その他		297	302	△ 5	貨物運送・荷役事業は主要顧客の震災復旧の進展等により増収となるも、有機溶剤等の蒸留・精製業は処理量減少等もあり対前年同期比減収
調整額		38	27	11	上記ｾｸﾞﾒﾝﾄに属さない電気･蒸気等のｺｰﾎﾟﾚｰﾄ部門の売上高を調整額として表示
計		7,093	7,448	△ 355	

②ｾｸﾞﾒﾝﾄ別営業利益

		当第1四半期連結累計期間 (H24.4.1-H24.6.30)	前年同四半期連結累計期間 (H23.4.1-H23.6.30)	増減	
報告セグメント	無機化学品	24	196	△ 172	ｱﾝﾓﾆｱ系製品は販売数量はほぼ前年同期並みとなるも、震災による損害に伴い前期特別損失に計上した工場固定費の売上原価への反映により、また、無機材料は販売数量減により、対前年同期比減益
	機能化学品･化成品	△ 17	151	△ 168	ﾎﾙﾏﾘﾝ・木材加工用接着剤等は販売数量増、ﾀｲｸ(ｺﾞﾑ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ架橋助剤)は販売数量減となる中、各々震災による損害に伴い前期特別損失に計上した工場固定費の売上原価への反映により、対前年同期比減益
	ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	△ 23	67	△ 90	震災復旧需要の一巡に伴い受注が減少したこともあり、大型工事案件の検収ずれ等、一時的な売上増があった対前年同期との比較で減益
その他		△ 20	△ 46	26	有機溶剤等の蒸留・精製業は処理量の減少により減益となるも、貨物運送・荷役事業は主要顧客の震災復旧の進展等により増益となったこと等から、対前年同期比増益
調整額		△ 323	12	△ 335	原価差額及び上記ｾｸﾞﾒﾝﾄに属さない電気･蒸気等のｺｰﾎﾟﾚｰﾄ部門の損益を調整額として表示（含みらいﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ開発費用　H24第1Q △36　H23第1Q △36）
計		△ 359	380	△ 739	

2．連結比較貸借対照表

	当第1四半期連結累計期間 (H24.6.30)	前連結会計年度末 (H24.3.31)	増減		当第1四半期連結累計期間 (H24.6.30)	前連結会計年度末 (H24.3.31)	増減
現預金	1,987	1,519	468	有利子負債	11,578	11,490	88
たな卸資産	5,223	4,760	463	営業債務他　※2	11,567	11,555	12
営業債権他　※1	9,747	10,795	△1,048	株主資本	11,169	11,500	△331
固定資産(有形･無形)	13,379	13,482	△103	その他包括利益累計額	12	15	△3
投融資等	3,990	4,004	△14				
資産合計	34,326	34,560	△234	負債･純資産合計	34,326	34,560	△234

(注)自己資本＝純資産－少数株主持分

D/Eﾚｼｵ＝有利子負債／自己資本

自己資本	11,181	11,515	△ 334
自己資本比率	32.6%	33.3%	-0.7%
有利子負債	11,578	11,490	88
D/Eレシオ	1.04	1.00	0.04

※1　増減内訳：売上債権△1,081、繰延税金資産等+33

※2　増減内訳：仕入債務+41、災害損失引当金△60、流動負債その他等+31

３．連結キャッシュ・フロー

（参考）

	当第1四半期連結累計期間 (H24.4.1-H24.6.30)		前年同四半期連結累計期間 (H23.4.1-H23.6.30)
営業活動によるＣＦ	683	売上債権減少1,081、減価償却費308、税前利益△200、たな卸資産の増加△463、その他△43	397
投資活動によるＣＦ	△106	設備投資△213、固定資産売却収入他+107	△734
ﾌﾘｰ･ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰ	577		△337
財務活動によるＣＦ	△109	配当金の支払△197、借入金の増等＋88	△244
現金及び現金同等物に係る換算額	△0		0
現金及び現金同等物の増減	468		△581

４．連結通期業績予想

（平成24年５月11日発表）

	25年3月期			24年3月期	増減	
	上期	下期	通期	実績	金額	率
売上高	15,300	20,300	35,600	32,905	2,695	8.2%
営業利益	△210	1,610	1,400	565	835	147.8%
経常利益	△200	1,650	1,450	963	487	50.6%
特別損益	△150	△150	△300	301	△601	
税引前利益	△350	1,500	1,150	1,264	△114	-9.0%
当期純利益	△210	900	690	372	318	85.5%
1株当り当期純利益	△2円00銭	8円57銭	6円57銭	3円54銭		
1株当り配当金(期末のみ)		2円	2円	2円		

※特別損益(予想)の主な内訳

	25年3月期	24年3月期
受取補償金	－	423
債務免除益	－	288
災害による損失	－	△ 519
固定資産処分損	△300	△ 68
減損損失	－	△ 35
その他	－	212
計	△300	301

①ｾｸﾞﾒﾝﾄ別売上高

		25年3月期			24年3月期	増減	
		上期	下期	通期	実績		
報告セグメント	無機化学品	6,700	8,800	15,500	13,175	2,325	ｱﾝﾓﾆｱ系製品及び無機材料の販売数量増等による増収
	機能化学品･化成品	6,300	7,700	14,000	11,558	2,442	化成品関連、ﾀｲｸ(ｺﾞﾑ､ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ架橋助剤)及びその他機能化学品等の販売数量増等による増収
	ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	1,500	3,000	4,500	6,633	△2,133	震災復旧需要減等による減収
その他		730	720	1,450	1,376	74	貨物運送・荷役事業の取扱量増等による増収
調整額		70	80	150	163	△13	上記ｾｸﾞﾒﾝﾄに属さないｺｰﾎﾟﾚｰﾄ部門の売上高を調整額として表示
計		15,300	20,300	35,600	32,905	2,695	

②ｾｸﾞﾒﾝﾄ別営業利益

		25年3月期			24年3月期	増減	
		上期	下期	通期	実績		
報告セグメント	無機化学品	10	590	600	△268	868	ｱﾝﾓﾆｱ系製品及び無機材料の販売数量増等に伴い増益
	機能化学品･化成品	40	720	760	156	604	化成品関連、ﾀｲｸ(ｺﾞﾑ､ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ架橋助剤)及びその他機能化学品等の販売数量増に伴い増益
	ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	△30	170	140	666	△526	震災復旧需要減等に伴い減益
その他		△20	70	50	△77	127	貨物運送・荷役事業の取扱量増及び産業廃棄物処理関連業の事業撤退に伴い増益
調整額		△210	60	△150	88	△238	上記ｾｸﾞﾒﾝﾄに属さないｺｰﾎﾟﾚｰﾄ部門の損益を調整額として表示
計		△210	1,610	1,400	565	835	